

## コメント抜粋【参加学生】

### 問3 受入事業所について、印象は変化しましたか？

#### 参加前より良くなった

担当者様だけでなく社員の皆様がとても親切で熱心に指導して下さったから。一緒に働きたいと思ったから。(卸売業・小売業・大学3年生)

指導して下さった社員の皆様が非常に優しく、モノの考え方やマナーなど目標にしたいと思う大人の方ばかりだったから。また、若者が活躍できる場が沢山あるということがわかったから。(卸売業・小売業・大学3年生)

実際に企業で働いている人と話すことで、事務所の雰囲気や企業の仕事内容が分かったため。(情報通信業・大学3年生)

ホテル業界は接客サービスだけだと思っていましたが、お客様におススメする旅行プランの制作もすることができるとわかり、自分がやりたいことができる仕事だと思いました。(宿泊業・飲食業・大学院1年生)

不動産会社というものにあまり良いイメージを抱いていなかったのですが、仕事への姿勢や仕組みなどとても考えられていて、社員全員が働きやすい環境を目指していることが伝わってきたから。(不動産・物品賃貸業・大学3年生)

実際に働くことで、社員の皆様のお客様に対しての思いだったり、会社への考えだったり、よりよくなっていくという気持ちがかえってきたから。(卸売業・小売業・大学3年生)

#### 参加前と変わらない

ホームページやFacebookなどを見て、働きやすそうな社風だなと思っていたが、実際働いている方の姿を見て、とても忙しそうで、実際見てみるとわからないものだなと思ったから。(情報通信業・大学3年生)

想像していたものとそこまで違っていなかったから。(不動産・物品賃貸業・大学3年生)

### 問4 1番学びの多かった体験内容はありますか？

営業職や就活に関する講座。営業職についての知識が身についたし自分の中のイメージが大きく変わってより営業に興味を持つようになったから。就活に対してネガティブなイメージを持っていたが、頑張って成功させたいと思えるようになったから。(卸売業・小売業・大学3年生)

料飲部研修です。レストランの開店時間前に店内の掃除をしたり、開店後は料理の品出しなどで実際に接客を体験して、サービス業は表の仕事だけでなく裏方の仕事も大変だということを知ることができたから。(宿泊業・飲食業・大学3年生)

最も学びの多かった体験は、企画開発会議に出席させていただいたことです。私とほとんど年齢が変わらない同世代の店舗代表者の皆様が堂々と発表されている姿を見て刺激を受けました。こんな社会人になりたいという憧れを抱くようになり、その目標に向けて今何をすべきか考える機会となりました。また、質疑応答の時間には質問に的確に回答していただき、非常に有意義な時間となりました。(卸売業・小売業・大学3年生)

企画立案から製品製作、プレゼンまでを行ったこと。理由は、良かった点や悪かった点を具体的に言ってもらえたので、現在の自分の課題がはっきりわかったため。(情報通信業・大学3年生)

業務体験です。オンラインでのインターンシップは経験したことがあったが、実際に会社に訪れ業務を体験したのは初めてで、実際にその場で社員さんと業務を体験することで、ひとつでもミスをすればクライアントに謝罪しなければならない雰囲気や責任感、正確性やスピード感を体験することができたから。(サービス業・大学3年生)

講師として勉強を教えたことです。やったことの無いことをするのは緊張しましたが、やってみると、意外と上手にいき、生徒との関係も良好を維持しながら、勉強を見てあげることができました。自分の知らないところに意外と自分の適性があるのかもしれないと感じました。(教育、学習支援業・大学3年生)

製造業務の体験が私にとって新鮮でより学びが多かったと思う。最近の食品工場のイメージとして機械を導入して効率さを求めていくものと考えていたが、ほとんどの工程が手作業であることに驚いた。ただ、現場で働いている方からお話を聞くと、手作業だからこそ自分で自信を持って安心・安全を消費者に伝えられるのだと感じた。また、手作業の工程ならではの効率性向上のための工夫も知ることができて良い経験になった。(製造業・大学3年生)

接客体験です。実際にお客様とお話したりお客様の目線や動き方を見ることで、ご要望はどのようなものなのか考えることができたと感じたから。(卸売業・小売業・大学3年生)

インターン生で宿泊プランを考えること。初対面の人とでも意見を出し合いながら一つのプランを作成するという事は、言語化する力、まとめる力、コミュニケーション能力など、様々な力が必要だったから。(宿泊業・飲食業・大学3年生)

## コメント抜粋【参加学生】

### 問5 インターンシップに参加する前と後で、島根県内での就職への関心はどうになりましたか？

#### 関心度が上がった回答

島根県で暮らしている社員の人達の生活を聞いて、実際島根県に就職した際にしっかりと生活していけそうであると感じたから。  
(建設業・大学院1年生)

IT関係の企業への就職を考えていたので、より都会に位置している企業の方が良いと考えていたが、島根からでも様々な仕事を受けることができると分かったため。(情報通信業・大学3年生)

私が参加した研修先では、特に地元と密接に関連、直結するものだったので、地元で働く良さを知りました。また、松江の観光プランを考えるにあたって、様々な島根のいいところを発見でき、島根就職への興味が高まりました。(宿泊業・飲食業・大学3年生)

地域への貢献を大切にしている企業の熱意に触れ、自分も生まれ育った島根県に貢献したいという想いが強くなったため。  
(情報通信業・大学3年生)

参加前はなんとなくの理由で島根で就職したいと思っていたが、参加後は島根の魅力を伝えていけるような仕事に就きたいと感じたから。  
(宿泊業・飲食業・短期大学1年生)

### 問8 インターンシップ体験の満足度はいかがでしたか。

#### 満足

実際に業務を体験することで、実際の社会人の仕事に対する真剣さがひしひしと伝わってくるので、社会人になるということのイメージがついてよかった。(公務・大学3年生)

実際に実務を体験することを目的に参加したが、体験できたことに加え、実際に社会の中で活躍されている方のお話を聞けたことがとても良かった。これからの学生生活、就職活動に活かすことのできるようなお話をたくさん聞くことができ、自身の学びにつながった。  
(不動産・物品賃貸業・大学3年生)

インターンシップに参加して改めて社会人として活躍するにはどのような選択をすればいいかや、この後どのような進路に進めばいいかについてアドバイスを貰い、参加する前よりもより考えを深めることが出来たからです。(建設業・大学院1年生)

事業内容についての理解を深められたのはもちろんですが、社会人としてどうあるべきか、「働く」ということはどういうことかなど、学生と社会人の意識の違いや社会に出るといのはどういうことなのかについて考えることができ、大きな学びになりました。インターンシップ参加以前は、働くことにマイナスなイメージがあったけれど、参加後は、自分が働いて社会貢献することで周りが幸せになるのはもちろん、自分にとってもプラスにはたらくのではないかと考えるようになり、早く働きたいという気持ちになりました。優しく丁寧に指導してくださったたくさんの社員の皆様の姿を間近で拝見していて、「こんな大人になりたい！」と強く思いました。(卸売業・小売業・大学3年生)

インターンシップに参加し、働くことに対して気持ちが少しだけ楽になった。笑顔のない職場だったらどうしよう、怒られる1週間だどうしようと思っていたが、それは自分の考えすぎで楽しいと思える職場だった。特に、事業内容の体験からはコンサルタント業の詳細を知らなかったが、地域問題解決に向けて1番考え1番アグレッシブに動いているのがコンサルタント業ではないかと感じた。自分が目指す将来の姿と、自分のしたい職業をより考えるきっかけになった。インターンシップの参加自体が初めてでとても緊張し、やめとけばよかったかなと始まる前までは思っていたが、インターンシップに参加し本当によかった。(サービス業・大学3年生)

自分がイメージしていたものとはいい意味で違ったものとなったし、やはり直接働いてらっしゃる方の話を聞くことで、紙面ではわからないことや、それぞれ持っていらっしゃる考えを聞くことができたから。また、自分の理想とする社会人像が明確になった。(不動産・物品賃貸業・大学3年生)

もっと早くインターンシップに行けばよかったと思った。他の企業のインターンシップや長期のインターンシップにも行ってみたいと思った。自分が短所だと思うところも事業所の方から見ると長所だったり自己分析のための気づきもたくさんあった。(サービス業・大学3年生)

インターンシップに参加することによって、働くことのイメージを掴むことができた。また実際に見てみないとわからないことも多いが、インターンシップに参加し企業を直接みることでその企業の雰囲気など自分に合うのか合わないのか感じることができた。限られた貴重な時間になるため、聞きたいことをあらかじめまとめておけば良かったという点は反省として残った。(卸売業・小売業・大学3年生)

インターンシップでは、現場でのやりがいや大変だったことなどを現場で実際に仕事をされている方からの生の声を聞くことができ、土木の業界について深く知ることができた。(建設業・大学3年生)

参加前は漠然としていた「地域に貢献したい」という気持ちが、実際にそのために働かされている社員の方々の姿を見てお話を聴くことで、より明確になった。様々な経験のお話を聴いたり、人と接する仕事をする上で必要な姿勢などを現場で見たりすることができて、とても貴重な経験になった。緊張していて挨拶などの声が小さくなってしまいう時があったので、社会人としてのマナーも必要だけど、まずは元気の良さや積極性を意識することが大切だと気付けた。(情報通信業・大学3年生)

#### やや満足

希望する職種が自分に向いているのか不安だったけど、体験してみて、自分に向いているのではと前向きになれたし、こういったところで仕事がやりたいと具体的なものが見えてきました。反省点としてはもっと積極的に行動したり職員のみなさんにお話を聞いたりすればよかったなと思いました。(サービス業・大学3年生)

このインターンシップで学んだことは、どれだけ相手の気持ちになれるのか、また今後就活をする上で自己分析をどのようにしていくべきか、職場選びのポイントなど事細かく聞くことができ、就活での不安だった部分が知れてとても良かったです。(卸売業・小売業・大学3年生)

## コメント抜粋【受入事業所】

### 問5 学生の実習態度について、具体的にご入力ください。

目的意識が高く、また、コミュニケーション能力も高く好印象でした。自分の意見をきちんと発表され、受け入れ側も大学生の意見を聞くことができ良い機会でした。疑問点を質問するなど積極的に学ぶ姿勢が感じられました。(公務)

今回若手の会議にも参加していただきましたが、その中でも積極的に質問していただき、非常に意欲的だという印象を持ちました。また、事前に質問事項をまとめていただきましたが、弊社についてしっかりと調べた上での質問が多く、インターンシップへの意識の高さを感じました。(卸売業、小売業)

人の話をきちんと聞く姿勢が取れていたし、大多数の人とうまくコミュニケーションが取れていた様子。与えられた仕事が終わるとすぐに報告をし、次の業務に取り組む姿勢も良かった。実習態度は非常に良かったと思います。(卸売業、小売業)

接客に興味があるとのことで、お客さまやお客さまとスタッフのやりとりをしっかりと見ており、そのことからの気づきも多くあったようです。目的意識が明確だったので、こちらも接しやすく、アドバイスもしやすかったです。(卸売業、小売業)

与えられた業務に対して正確で、集中する姿勢は良かったです。業務内容に関する質問や業務完了の報告など、報連相もできていたと思います。(不動産・物品賃貸業)

自分の考えをしっかりと持ちインターンシップに参加していました。一緒に参加した学生とのコミュニケーションが取れていました。(卸売業、小売業)

初日は表情が硬く緊張が伝わるほどでしたが、目的意識がしっかりしていたので一つ一つの業務に対し、意欲をもって業務に取り組んでいました。お客様への対応も丁寧に対応されていました。(宿泊業、飲食業)

### 問6 貴事業所にとって、今回のインターンシップ受入はいかがでしたか？

インターンシップにおいて、若手社員により学生指導を行ったので、社員側も良いアウトプットの機会となり業務理解の一助となりました。5日間と長い時間をともにしたため、学生の知識の定着・成長を感じることができました。(不動産・物品賃貸業)

学生さんから学ぶ事が本当に沢山ありました。また、受け入れをさせていただくにあたり、どの部署のスタッフも改めて自分がどのような想いで仕事をしているのかを考え直すとてもいい機会でした。(宿泊業、飲食業)

学生さん目線での気づきや感想をいただくことができ、企業側も学びが多かったです。(サービス業)